

2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月7日

上場会社名 日本パーカライジング株式会社 上場取引所 東
コード番号 4095 URL <https://www.parker.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 青山 雅之
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コーポレート本部長 (氏名) 相島 敏行 (TEL) 03-3278-4333
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期 第1四半期の連結業績 (2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期 第1四半期	33,670	5.6	4,737	38.8	5,986	48.4	3,671	30.6
2026年3月期 第1四半期	31,876	5.0	3,413	△6.6	4,033	△17.8	2,810	△7.1

(注) 包括利益 2027年3月期 第1四半期 8,694百万円(—%) 2026年3月期 第1四半期 △2,108百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期 第1四半期	34.12	—
2026年3月期 第1四半期	24.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期 第1四半期	269,828	223,141	75.3	1,921.39
2026年3月期	273,094	221,457	73.9	1,864.35

(参考) 自己資本 2027年3月期 第1四半期 203,063百万円 2026年3月期 201,821百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想 (2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	134,000	△3.0	15,000	1.3	19,000	△3.4	14,000	8.2

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2026年5月14日開催の取締役会において、自己株式の取得について決議をしました。2027年3月期の連結業績予想における「1株当たり当期純利益」については、当該自己株式の影響を考慮しています。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2027年3月期1Q	132,604,524株	2026年3月期	132,604,524株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2027年3月期1Q	26,919,181株	2026年3月期	24,351,467株
------------	-------------	----------	-------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2027年3月期1Q	107,611,128株	2026年3月期1Q	113,643,630株
------------	--------------	------------	--------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等の注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11
3. 補足情報	12
(1) 四半期毎の業績の推移（連結）	12
(2) 報告セグメントの所在地別売上高及び利益又は損失の金額に関する情報	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調が続いているものの、中東情勢の影響など先行きに対する不透明感が依然として残っております。また、世界経済におきましても、一部の地域において弱さがみられるものの、緩やかな持ち直しが続いています。しかしながら、中東情勢をはじめとする地政学的リスクなどにより、先行き不透明な状況が継続しております。

当社グループの主要な供給先であります自動車業界においては、国内の生産台数は前年を上回る水準で推移しました。海外においては、インドなどで生産台数が前年を上回りましたが、中国などでは前年割れで推移しました。もう一つの柱であります鉄鋼業界においては、国内の粗鋼生産量は前年を上回る水準となりました。海外においては、中国等の地域では前年を下回る水準で推移しました。

このような状況のなか、当社グループでは、前期より第5次中期経営計画をスタートさせております。2028年の創業100周年に向け、品質向上、安全確保、資本効率の向上など、持続的成長を支えるためのグループ経営基盤を確立を図ってまいります。また、「変革への挑戦～Challenge for Change!～」をスローガンに掲げ、1928年の創業以来培ってきた表面改質技術を通じて、既存事業の深耕、海外事業の拡大、新規分野の開拓に注力し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

この結果、当第1四半期の連結業績は次のとおりとなりました。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益
当第1四半期累計期間 (2027年3月期)	33,670	4,737	5,986	3,671
前第1四半期累計期間 (2026年3月期)	31,876	3,413	4,033	2,810
増減金額	1,793	1,324	1,952	860
増減率	5.6%	38.8%	48.4%	30.6%

売上高は336億70百万円（前年同期比5.6%増）となりました。なお、売上高は四半期開示が始まった2004年3月期から、過去最も高い水準となりました。事業の種類別セグメント毎の売上高は、前年同期に比べ薬品事業が8.8%の増収、装置事業が0.6%の減収、加工事業が3.8%の増収、その他が10.4%の増収となりました。また、地域別セグメントは、国内が7.5%の増収、アジアが4.5%の増収、欧米が1.5%の減収となりました。

営業利益は47億37百万円（前年同期比38.8%増）、**経常利益**は59億86百万円（前年同期比48.4%増）、**親会社株主に帰属する四半期純利益**は36億71百万円（前年同期比30.6%増）となりました。

なお、従来「受取技術料」を営業外収益に計上しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「売上高」に計上する方法に変更しております。

【為替の影響額】

海外業績の換算による損益計算書に与える影響額は、売上高で8億6百万円程度の増収、営業利益で1億13百万円程度の増益となっております。

【事業の種類別セグメントの概況】

(単位：百万円)

報告セグメント	外部顧客に対する売上高				セグメント利益又は損失(△) (営業利益)			
	前第1四 半期累計	当第1四 半期累計	増減額	増減率	前第1四 半期累計	当第1四 半期累計	増減額	増減率
薬品事業	14,603	15,895	1,292	8.8%	2,430	2,841	411	16.9%
装置事業	4,497	4,470	△26	△0.6%	△101	581	682	673.4%
加工事業	12,123	12,582	459	3.8%	1,506	1,680	174	11.6%
その他	653	721	68	10.4%	△46	△20	25	56.4%
調整額 (消去)	—	—	—	—	△375	△346	29	7.9%
連結損益計算書計上額	31,876	33,670	1,793	5.6%	3,413	4,737	1,324	38.8%

①薬品事業

売上高は158億95百万円（前年同期比8.8%増）となり、**営業利益**は28億41百万円（前年同期比16.9%増）となりました。当事業部門は、あらゆる産業分野における素材の洗浄、防錆、塗装下地、潤滑、意匠などを目的として表面処理剤の製造・販売と、これにともなうノウハウ、技術サポートを提供しております。国内では鉄鋼分野・輸送機器分野を中心に、販売数量が前年同期比にて増加し、堅調に推移しました。そして、海外では、欧米地域およびアジア地域において販売が順調に推移しました。その結果、薬品事業全体の売上高は増収となりました。利益面では、原材料価格の上昇や人件費、減価償却費および運送費等の増加があったものの、増収効果により営業利益は増益となりました。なお、従来「受取技術料」を営業外収益に計上しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「売上高」に計上する方法に変更しております

②装置事業

売上高は44億70百万円（前年同期比0.6%減）となり、**営業利益**は5億81百万円（前年同期は1億1百万円の営業損失）となりました。当事業部門は、輸送機器業界を中心に前処理設備、塗装設備及び粉体塗装設備などを製造・販売しております。国内では販売が増加し、堅調に推移しました。中国等では、販売が減少しましたが、収益面の改善が進み、利益が増加しました。その結果、装置事業全体では売上高は減収となりましたが、利益面では増益となりました。

③加工事業

売上高は125億82百万円（前年同期比3.8%増）となり、**営業利益**は16億80百万円（前年同期比11.6%増）となりました。当事業部門は、潤滑性・高密着性などの機能性を付与する「防錆加工」、金属の強度や耐久性を高める「熱処理加工」、素材表面に薄膜金属を被膜することで高耐食性、耐摩耗性などを付与できる「めっき処理」などの表面処理の加工サービスを提供しております。主に国内では、輸送機器業界等向けにて販売増加があり、売上高は増収となりました。また、タイ等でも輸送機器向けの販売増加があり、売上高が増収となりました。一方、米国等の地域においては輸送機器向けの販売が減少しました。その結果、加工事業全体では売上高が増収となりました。そして、利益面では、人件費・原材料費・光熱費の高止まり基調は続いておりますが、営業利益は増益となりました。

④その他

売上高は7億21百万円（前年同期比10.4%増）となり、**営業損失**は20百万円（前年同期は46百万円の営業損失）となりました。当事業部門は、ビルメンテナンス事業、太陽光発電事業及び医療機器事業を営んでおります。主に国内では、ビルメンテナンス事業等が堅調に推移し、売上高は増収となりました。利益面では、主にビルメンテナンス事業及び太陽光発電事業において、増益となりました。

【投資情報】

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間	当第1四半期累計期間	増減率
減価償却費	1,776	1,775	△0.0%
設備投資額	2,417	2,524	4.4%
研究開発費	705	700	△0.7%
有利子負債	741	950	28.1%

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

資産合計は、前連結会計年度末と比較し32億66百万円減少し2,698億28百万円となりました。流動資産は113億51百万円減少いたしました。主な要因は、現金及び預金が142億3百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が15億94百万円それぞれ減少したことによるものです。固定資産は80億85百万円増加いたしました。主な要因は、有形固定資産が11億24百万円、投資その他の資産が69億67百万円それぞれ増加したことによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末と比較し49億50百万円減少し466億86百万円となりました。流動負債は69億89百万円減少いたしました。主な要因は、支払手形及び買掛金が11億8百万円、未払法人税等が40億90百万円、賞与引当金が15億5百万円それぞれ減少したことによるものです。固定負債は20億39百万円増加いたしました。主な要因は、繰延税金負債が20億35百万円増加したことによるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末と比較し16億84百万円増加し2,231億41百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が9億57百万円、その他有価証券評価差額金が41億70百万円、非支配株主持分が4億42百万円それぞれ増加し、一方で自己株式が41億1百万円増加(純資産は減少)したことによるものです。

以上の結果、自己資本比率は75.3%と前連結会計年度末と比較し1.4ポイント増加し、1株当たり純資産は1,921円39銭と57円4銭増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年5月14日に公表いたしました2027年3月期の連結業績予想から変更はありません。なお、業績予想の変更が必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間末 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	72,757	58,554
受取手形、売掛金及び契約資産	42,240	40,646
有価証券	302	427
商品及び製品	3,942	4,033
仕掛品	85	158
原材料及び貯蔵品	7,290	7,764
その他	2,922	6,350
貸倒引当金	△2,435	△2,181
流動資産合計	127,104	115,753
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	32,152	32,170
機械装置及び運搬具（純額）	12,913	12,831
土地	18,346	18,660
建設仮勘定	8,228	8,948
その他（純額）	3,999	4,154
有形固定資産合計	75,641	76,765
無形固定資産	5,020	5,013
投資その他の資産		
投資有価証券	40,501	46,716
退職給付に係る資産	7,848	7,894
繰延税金資産	2,035	2,134
その他	15,031	15,640
貸倒引当金	△90	△89
投資その他の資産合計	65,327	72,295
固定資産合計	145,989	154,074
資産合計	273,094	269,828

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間末 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,926	14,818
未払法人税等	5,829	1,739
賞与引当金	2,831	1,325
役員賞与引当金	108	54
その他の引当金	487	318
その他	11,252	11,189
流動負債合計	36,436	29,446
固定負債		
長期借入金	250	250
退職給付に係る負債	3,674	3,699
役員退職慰労引当金	255	267
繰延税金負債	9,687	11,723
その他	1,332	1,300
固定負債合計	15,200	17,240
負債合計	51,636	46,686
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,560	4,560
資本剰余金	5,245	5,246
利益剰余金	178,754	179,711
自己株式	△24,566	△28,668
株主資本合計	163,993	160,850
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,811	19,981
繰延ヘッジ損益	3	1
為替換算調整勘定	16,808	17,183
退職給付に係る調整累計額	5,204	5,046
その他の包括利益累計額合計	37,828	42,213
非支配株主持分	19,635	20,078
純資産合計	221,457	223,141
負債純資産合計	273,094	269,828

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	31,876	33,670
売上原価	21,159	21,478
売上総利益	10,716	12,191
販売費及び一般管理費	7,303	7,454
営業利益	3,413	4,737
営業外収益		
受取利息	190	100
受取配当金	353	428
受取賃貸料	178	178
持分法による投資利益	304	351
為替差益	—	145
その他	110	190
営業外収益合計	1,137	1,395
営業外費用		
支払利息	6	2
賃貸費用	80	62
為替差損	216	—
その他	212	81
営業外費用合計	516	146
経常利益	4,033	5,986
特別利益		
固定資産売却益	10	0
投資有価証券売却益	583	—
特別利益合計	594	0
特別損失		
固定資産除売却損	28	40
事業構造改善費用	44	—
その他	2	—
特別損失合計	75	40
税金等調整前四半期純利益	4,552	5,946
法人税等	1,327	1,776
四半期純利益	3,224	4,170
非支配株主に帰属する四半期純利益	414	499
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,810	3,671

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	3,224	4,170
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	156	4,272
為替換算調整勘定	△5,001	90
退職給付に係る調整額	△92	△157
持分法適用会社に対する持分相当額	△395	319
その他の包括利益合計	△5,332	4,524
四半期包括利益	△2,108	8,694
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,282	8,056
非支配株主に係る四半期包括利益	△825	638

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	薬品事業	装置事業	加工事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	14,603	4,497	12,123	31,223	653	31,876	—	31,876
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	355	169	10	535	1	537	△537	—
計	14,959	4,666	12,133	31,759	654	32,413	△537	31,876
セグメント利益又は 損失 (△)	2,430	△101	1,506	3,835	△46	3,789	△375	3,413

(注) 1 「その他」は、報告セグメントに含まれない区分であり、ビルメンテナンス事業、太陽光発電事業などを含んでおります。

2 セグメント利益又は損失 (△) の調整額△375百万円には、セグメント間取引消去45百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△421百万円が含まれております。なお、全社費用は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術研究費であります。

3 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	薬品事業	装置事業	加工事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	15,895	4,470	12,582	32,949	721	33,670	—	33,670
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	360	191	110	663	245	909	△909	0
計	16,256	4,662	12,693	33,612	967	34,579	△909	33,670
セグメント利益又は 損失 (△)	2,841	581	1,680	5,103	△20	5,083	△346	4,737

(注) 1 「その他」は、報告セグメントに含まれない区分であり、ビルメンテナンス事業、太陽光発電事業及び医療機器事業などを含んでおります。

2 セグメント利益又は損失 (△) の調整額△346百万円には、セグメント間取引消去124百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△470百万円が含まれております。なお、全社費用は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術研究費であります。

3 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	1,776百万円	1,775百万円

3. 補足情報

(1) 四半期毎の業績の推移 (連結)

2027年3月期 (連結)

(単位：百万円)

	第1四半期 2026年4月～6月	第2四半期 2026年7月～9月	第3四半期 2026年10月～12月	第4四半期 2027年1月～3月	通算 2026年4月～2027年3月
売上高	33,670				33,670
売上総利益	12,191				12,191
営業利益	4,737				4,737
経常利益	5,986				5,986
税金等調整前当期純利益	5,946				5,946
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,671				3,671
総資産	269,828				—
純資産	223,141				—

2026年3月期 (連結)

(単位：百万円)

	第1四半期 2025年4月～6月	第2四半期 2025年7月～9月	第3四半期 2025年10月～12月	第4四半期 2026年1月～3月	通算 2025年4月～2026年3月
売上高	31,876	33,269	36,325	37,575	139,047
売上総利益	10,716	11,492	12,255	12,539	47,003
営業利益	3,413	3,828	4,248	4,216	15,706
経常利益	4,033	4,809	5,341	5,483	19,667
税金等調整前当期純利益	4,552	4,707	5,290	8,400	22,951
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,810	2,851	3,712	3,566	12,940
総資産	256,085	261,468	259,113	273,094	—
純資産	215,591	217,283	214,386	221,457	—

2025年3月期 (連結)

(単位：百万円)

	第1四半期 2024年4月～6月	第2四半期 2024年7月～9月	第3四半期 2024年10月～12月	第4四半期 2025年1月～3月	通算 2024年4月～2025年3月
売上高	30,344	32,757	33,723	36,247	133,073
売上総利益	10,475	10,924	11,332	11,969	44,700
営業利益	3,654	3,850	4,169	4,115	15,790
経常利益	4,909	3,997	5,286	5,742	19,936
税金等調整前当期純利益	4,944	4,027	5,231	5,499	19,702
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,024	2,869	3,665	3,552	13,112
総資産	266,910	265,566	264,483	267,250	—
純資産	223,068	225,074	220,208	223,298	—

※表示方法を2027年3月期第1四半期連結累計期間より変更しております。そのため、2026年3月期及び2025年3月期についても表示方法の変更を反映させた組替後の数値に修正しております。

(2) 報告セグメントの所在地別売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

報告セグメント		売上高				セグメント利益又は損失（△）			
		前第1四 半期連結 累計期間	当第1四 半期連結 累計期間	増減額	増減率	前第1四 半期連結 累計期間	当第1四 半期連結 累計期間	増減額	増減率
薬品 事業	日本	8,330	8,812	481	5.8%	1,176	1,720	544	46.3%
	アジア	6,084	6,815	731	12.0%	1,062	1,087	24	2.3%
	欧米	188	267	79	41.9%	16	33	17	107.6%
	セグメント間の 内部売上高 又は振替高	355	360	4	1.4%	175	0	△ 175	△99.9%
	計	14,959	16,256	1,297	8.7%	2,430	2,841	411	16.9%
装置 事業	日本	2,928	3,509	581	19.9%	△ 85	376	462	540.1%
	アジア	1,317	752	△ 565	△42.9%	△ 51	216	268	523.8%
	欧米	251	208	△ 42	△16.8%	28	10	△ 17	△61.7%
	セグメント間の 内部売上高 又は振替高	169	191	22	13.2%	6	△ 23	△ 30	△434.1%
	計	4,666	4,662	△ 3	△0.1%	△ 101	581	682	673.4%
加工 事業	日本	6,411	6,648	236	3.7%	1,066	1,239	172	16.2%
	アジア	3,086	3,390	304	9.9%	361	508	146	40.5%
	欧米	2,625	2,544	△ 81	△3.1%	57	△ 79	△ 137	△239.5%
	セグメント間の 内部売上高 又は振替高	10	110	100	998.2%	21	13	△ 8	△38.1%
	計	12,133	12,693	559	4.6%	1,506	1,680	174	11.6%
報告セグメント計		31,759	33,612	1,853	5.8%	3,835	5,103	1,268	33.1%
その 他	日本	653	721	68	10.4%	△ 46	△ 18	27	59.8%
	アジア	—	—	—	—	—	—	—	—
	欧米	—	—	—	—	—	—	—	—
	セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1	245	244	—%	0	△ 1	—	—%
	計	654	966	312	47.7%	△ 46	△ 20	25	56.4%
合計		32,413	34,579	2,165	6.7%	3,789	5,083	1,294	34.2%
調整額		△ 537	△ 909	△ 371	△69.3%	△ 375	△ 346	29	7.9%
連結損益計算書計上額		31,876	33,670	1,793	5.6%	3,413	4,737	1,324	38.8%

所在地別セグメント情報

(単位：百万円)

所在地	売上高				営業利益			
	前第1四 半期連結 累計期間	当第1四 半期連結 累計期間	増減額	増減率	前第1四 半期連結 累計期間	当第1四 半期連結 累計期間	増減額	増減率
日本	19,369	21,227	1,857	9.6%	2,157	3,386	1,228	56.9%
アジア	10,524	11,120	595	5.7%	1,375	1,823	448	32.6%
欧米	3,088	3,050	△ 38	△1.2%	101	△ 35	△ 137	△134.6%
合計	32,982	35,398	2,415	7.3%	3,634	5,174	1,540	42.4%
調整額	△ 1,106	△ 1,728	△ 622	△56.2%	△ 221	△ 437	△ 215	△97.5%
連結損益計算書計上額	31,876	33,670	1,793	5.6%	3,413	4,737	1,324	38.8%